

「生命倫理に関する意識」調査 単純集計結果

	2002年	2014年
調査名	科学技術・生命倫理に関する世論調査	生命倫理に関する意識調査
調査目的	科学技術・生命倫理に関する人々の意識を調査し、日本の科学技術のあるべき姿を探る	第三者による卵子提供や代理出産、出生前診断や脳死段階における臓器提供等、医療の高度化によって生命にかかわる選択肢が増えているなか、日本人の生命についての考え方を探る
調査時期	2002年1月24日(木)～2月3日(日)	2014年10月18日(土)～26日(日)
調査方法	配付回収法	
調査対象	全国16歳以上	
調査相手	住民基本台帳から層化無作為2段抽出	
	1,800人(12人×150地点)	3,600人(12人×300地点)※
調査有効数(率)	1,315人(73.1%)	2,470人(68.6%)

※2014年は、外国人も住民基本台帳に記載されているため、外国人と思われる人は除いた

<>は開いているほうが統計的に有意に高いことを示す(信頼度95%)

一生き方一

第1問 次のAからDには、生き方に対する意見を示してあります。あなたは、どう思いますか。それぞれについて、1つずつ選んで○をつけてください。

	1. そう思う	2. どちらかといえば、そう思う	3. どちらともいえない	4. どちらかといえば、そう思わない	5. そう思わない	6. 無回答
	%					
A. 人の命ほど大切なものはない	2014年 83.3	11.8	3.4	0.4	0.9	0.2
B. 結婚したら、子どもを持つのが当たり前だ	2014年 23.6	30.4	31.7	2.8	11.3	0.2
C. 子どもを持たなくても幸福な人生をおくれる	2014年 40.7	21.1	27.7	6.2	4.0	0.4
D. 子どもは、ある程度仕事で実績を作ってから持つのがよい	2014年 13.6	24.4	36.4	9.2	16.0	0.4

一研究不正防止策(MA)一

第2問 医学・生命科学の分野で、研究者が実験結果のデータを細工したりねつ造りしたりする研究不正が疑われるケースが起っています。あなたはこの問題にどう対処すべきだと思いますか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んで○をつけてください。

- 2014年
1. 個々の研究者が自ら反省し、改善に取り組む … 53.4%
 2. 学会がガイドラインを作ったり、教育を行ったりして、再発防止に取り組む … 54.7
 3. 政府がガイドラインを作り、規制する … 18.7

4. 研究不正を罰する法律をつくる … 26.6
5. その他(具体的に) … 2.8
6. 対処すべきことは特にない … 2.2
7. 無回答 … 1.1

一生命倫理への関心一

第3問 最近、脳死や臓器移植、代理出産、遺伝子診断、再生医療といった医療技術の進歩とそれをめぐる生命倫理について話題になっています。あなたはこの問題に関心がありますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

- | | 2002年 | 2014年 |
|-------------------------|-------|-------|
| 1. 関心がある …………… | 32.9 | 33.6% |
| 2. どちらかといえば、関心がある …………… | 37.0 | 38.6 |
| 3. どちらともいえない …………… | 18.0 | 18.0 |
| 4. どちらかといえば、関心がない …………… | 7.1 | 5.7 |
| 5. 関心がない …………… | 4.7 | 3.8 |
| 6. 無回答 …………… | 0.2 | 0.4 |

一先端医療や生命倫理の情報源(MA)一

第4問 あなたは、新しい医療技術や生命倫理をめぐる問題について、何から情報を得ることが多いですか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んで○をつけてください。

- 2014年
1. テレビ …………… 91.0%
 2. ラジオ …………… 12.6
 3. 新聞 …………… 56.6
 4. 週刊誌などの雑誌 …………… 13.0
 5. 健康や医療の情報誌 …………… 8.9
 6. インターネット …………… 34.8
 7. 家庭向け医学書 …………… 2.3
 8. 病院や診療所 …………… 15.3
 9. 保健所や自治体 …………… 2.6
 10. 友人・口コミ …………… 15.7
 11. 広告・チラシ …………… 4.3
 12. その他(具体的に) …………… 0.9
 13. 特にない …………… 1.6
 14. 無回答 …………… 0.2

—マスメディアの報道評価—

第5問 あなたは、テレビやラジオ、新聞が、新しい医療技術や生命倫理について、次のAからDのようなことを伝えていていると思いますか。AからDのそれぞれについて1つずつ選んで○をつけてください。

		1. 伝えている	2. どちらかといえば、伝えている	3. どちらともいえない	4. どちらかといえば、伝えていない	5. 伝えていない	6. 無回答
	%						
A. 新しい医療技術の利点について	2014年	26.4	43.5	21.1	6.2	2.4	0.4
B. 新しい医療技術の欠点について	2014年	9.3	22.6	30.9	27.7	9.2	0.4
C. 少数意見も含めた新しい医療技術への賛否両方の意見について	2014年	7.4	22.4	40.9	20.2	8.3	0.8
D. 社会的議論が必要なものについて継続的に	2014年	7.4	19.6	37.7	22.7	11.4	1.2

—生命科学への態度—

第6問 あなたは、医療技術や生命に関係する科学に対してどのような考えをもっていますか。AからEのそれぞれについて、1つずつ選んで○をつけてください。

		1. そう思う	2. どちらかといえば、そう思う	3. どちらともいえない	4. どちらかといえば、そう思わない	5. そう思わない	6. 無回答
	%						
A. 生活をより幸福なものにするためには、できる限り医療技術を発展させるべきだ	2014年	41.1	30.9	21.1	3.5	3.2	0.3
B. クローン動物（人を除く）の研究は積極的に進めるべきだ	2002年 2014年	6.4 6.9	10.1 10.2	36.1 34.7	19.3 22.0	27.5 25.5	0.5 0.6
C. iPS細胞など人体の一部を再生する医療の研究は積極的にすすめるべきだ	2014年	56.9	27.2	12.5	1.3	1.6	0.4
D. 医療技術の進歩は、かえって人間に不幸をもたらす危険がある	2014年	11.2	13.9	46.4	13.6	14.7	0.2
E. 医療技術が急速に進み、理解できないことが多い	2014年	27.1	32.2	22.8	11.3	6.2	0.4

—一人のいのちの始まり—

第7問 あなたは、人のいのちはどの時点から始まると考えますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。人のいのちが始まるのは…

	2014年	
1. 精子や卵子	16.0%	
2. 受精卵（胚）	23.1	
3. 胎児（おなかの中にいる時）	51.6	
4. 新生児（生まれた後）	8.0	
5. その他（具体的に）	0.6	
6. 無回答	0.7	

—不妊治療の許容度—

第8問 子どもに恵まれない夫婦のために、現在の先端医療技術ではさまざまな治療が可能となっています。あなたは、以下の治療方法についてどのようにお考えですか。AからCのそれぞれについて、1つずつ選んで○をつけてください。

		1. 認められる	2. どちらかといえば、認められる	3. どちらともいえない	4. どちらかといえば、認められない	5. 認められない	6. 無回答
	%						
A. 夫の精子と妻の卵子による体外受精	2002年 2014年	50.6 61.3	22.6 19.8	17.9 13.7	3.0 2.8	5.6 1.8	0.3 0.5
B. 夫の精子と妻以外の卵子による体外受精	2002年 2014年	4.6 12.3	7.4 13.6	32.5 35.0	20.4 19.6	34.2 18.9	0.9 0.6
C. 夫以外の精子と妻の卵子による体外受精	2002年 2014年	3.8 11.9	7.5 12.3	30.9 35.2	21.5 20.1	35.5 19.8	0.8 0.6

—夫婦以外の精子や卵子の提供を受けて生まれた子への事実告知—

第9問 夫婦以外の人から、精子や卵子の提供を受けて生まれた子どもについてお聞きします。子どもは、提供された精子や卵子によって生まれた事実を知らされるべきだと思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

	2014年	
1. 子どもは事実を知らされるべきである	21.0%	
2. 子どもは事実を知らされるべきではない	12.8	
3. 子どもが事実を知らされるかどうかは夫婦の考えに任せるべきである	64.4	
4. その他（具体的に）	0.9	
5. 無回答	0.9	

—出自を知る権利—

第10問 子どもが夫婦以外の人から提供された精子や卵子によって生まれた場合、その子どもは精子や卵子の提供者を知る権利があると思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

2014年

- 1. 知る権利がある …………… 28.4%
- 2. どちらかといえば、知る権利がある …………… 17.5
- 3. どちらともいえない …………… 35.3
- 4. どちらかといえば、知る権利はない …………… 10.1
- 5. 知る権利はない …………… 8.1
- 6. 無回答 …………… 0.5

—代理出産の許容度—

第11問 子どもを産むことができない女性に代わって、その夫婦の体外受精卵の出産を引き受ける代理出産のありかたについてお聞きします。あなたは、以下についてどのようにお考えですか。AからCのそれぞれについて、1つずつ選んで○をつけてください。

	1. 認められる	2. どちらかといえば、認められる	3. どちらともいえない	4. どちらかといえば、認められない	5. 認められない	6. 無回答
A. ビジネス契約に基づく代理出産	2002年 4.1	8.9	25.9	16.0	44.5	0.6
	2014年 10.6	13.7	31.7	17.8	25.9	0.4
B. ボランティアによる代理出産	2002年 3.1	7.5	29.7	16.0	42.9	0.7
	2014年 9.9	11.3	31.5	17.5	29.4	0.4
C. 女性の姉妹など近親者による代理出産	2002年 7.1	15.0	32.3	13.7	31.6	0.3
	2014年 14.6	20.6	32.9	11.9	19.5	0.5

—代理出産の問題点 (MA) —

第12問 代理出産については、次のような問題が指摘されています。あなたが懸念することがあれば、いくつでも選んで○をつけてください。

2014年

- 1. 子どもを出産する代理母の健康に害が及ぶ …… 29.3%
- 2. 子どもを出産する代理母が、子どもを手放さない 48.6
- 3. 代理出産を依頼した人が、子どもを引き取らない 53.0
- 4. 親子関係や家族関係を混乱させる …………… 45.6
- 5. 親が子どもに代理出産で生まれたことを話せない 29.8
- 6. 商業化し、金もうけに利用される …………… 55.9

- 7. 経済的に恵まれている人しか利用できない …… 31.2
- 8. 経済的に恵まれていない女性が代理母を担うことになる …………… 30.2
- 9. 他人に産んでもらってまで子どもを持つことは、不自然 …………… 35.5
- 10. その他 (具体的に) …………… 1.5
- 11. 特にない …………… 2.7
- 12. 無回答 …………… 0.6

—新医療技術の許容度—

第13問 妊娠と出産をめぐる新しい医療技術や研究についてお聞きします。あなたは、AからFに挙げたようなことについてどのようにお考えですか。AからFのそれぞれについて、1つずつ選んで○をつけてください。

	1. 認められる	2. どちらかといえば、認められる	3. どちらともいえない	4. どちらかといえば、認められない	5. 認められない	6. 無回答
A. 健康な女性が、将来の妊娠に備えて卵子を凍結保存すること	2014年 25.0	21.9	32.3	11.0	9.3	0.5
B. 夫の死亡後、生前に凍結保存していた精子を使って、妻が妊娠、出産すること	2014年 20.0	19.1	31.9	14.9	13.6	0.4
C. 受精卵に遺伝子操作を行い、性別や身体の特徴など親の希望に合わせた子どもを作ること	2014年 2.1	3.0	17.6	19.9	56.8	0.6
D. 難病の子を持つ親がその子の治療のために、骨髄移植などの治療に適した受精卵を選んで新たに子どもを作ること	2014年 6.2	9.8	41.8	16.4	24.9	0.8
E. 体外受精で余った受精卵を研究に使うこと	2014年 11.1	13.6	31.3	14.7	28.5	0.8
F. 病気などで子宮のない女性に、別の女性の子宮を移植すること	2014年 17.7	22.6	39.0	8.6	11.3	0.9

—法律整備の賛否—

第14問 不妊治療のあり方については、日本では学会のガイドラインなどで定められています。今後、法律を整備することが検討されていますが、あなたはAからEに挙げたようなことについてどのようにお考えですか。AからEのそれぞれについて、1つずつ選んで○をつけてください。

	1. 賛成	2. どちらかといえば、賛成	3. どちらともいえない	4. どちらかといえば、反対	5. 反対	6. 無回答
%						
A. 精子や卵子の提供を認めるかどうか、法律で定める	2014年 22.5	23.2	36.0	10.2	7.5	0.6
B. 人の精子や卵子、受精卵の売買の禁止を法律で定める	2014年 58.8	17.6	15.7	3.7	3.6	0.5
C. 夫婦以外の精子や卵子の提供によって生まれた子どもが、精子や卵子の提供者に関する情報をどこまで知ることができるか、法律で定める	2014年 23.6	18.1	37.4	11.0	9.2	0.6
D. 代理出産を認めるかどうか、法律で定める	2014年 27.5	22.3	34.3	8.5	6.9	0.5
E. 不妊治療によって生まれた子の父と母をどう認定するかについて法律で定める	2014年 26.2	20.9	40.1	6.2	5.7	0.9

—生殖に関する教育—

第15問 不妊症や出産の適齢期など、生殖に関する知識を学校教育できちんと教えるべきだと思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

2014年

- 1. 教えるべき 61.7%
- 2. どちらかといえば、教えるべき 29.1
- 3. どちらかといえば、教えずでよい 6.6
- 4. 教えずでよい 2.1
- 5. 無回答 0.5

—新型出生前診断への考え—

第16問 妊婦の血液を分析することで、胎児のうちにダウン症など先天性の病気があるかどうか調べる新しい出生前検査についておたずねします。あなたは、このような検査を行うことについてどう思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

2014年

- 1. 認められる 41.5%
- 2. どちらかといえば、認められる 28.7

- 3. どちらともいえない 20.6
- 4. どちらかといえば、認められない 6.0
- 5. 認められない 2.9
- 6. 無回答 0.4

—妊娠中絶の許容度—

第17問 妊娠中絶することについて、あなたはどのようにお考えですか。A、Bのそれぞれについて、1つずつ選んで○をつけてください。

	1. 認められる	2. どちらかといえば、認められる	3. どちらともいえない	4. どちらかといえば、認められない	5. 認められない	6. 無回答
%						
A. 生まれてくる子どもに重い障害のある可能性が高い場合、妊娠中絶することは	2014年 31.7	27.9	30.6	5.8	3.8	0.3
B. 家庭の収入が極めて低く、子どもを育てる余裕がない場合、妊娠中絶することは	2014年 16.2	23.3	34.7	14.6	10.8	0.4

—最もかかりたくない病気—

第18問 自分がかかりたくない病気は何ですか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

2014年

- 1. がん 36.1%
- 2. 心臓病（心筋こうそく・狭心症など） 1.8
- 3. 脳卒中（脳こうそく・脳出血など） 10.5
- 4. 認知症 40.4
- 5. うつ病 6.8
- 6. その他（具体的に） 0.8
- 7. 特になし 3.2
- 8. 無回答 0.3

—遺伝子診断希望—

第19問 遺伝子を調べることで、将来の病気の可能性がわかる遺伝子診断についておたずねします。あなたは、このような検査を受けたいと思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

2014年

- 1. 受けたい 26.2%
- 2. どちらかといえば、受けたい 23.7
- 3. どちらともいえない 22.6
- 4. どちらかといえば、受けたくない 13.3
- 5. 受けたくない 13.2
- 6. 無回答 1.0

一遺伝子診断での懸念一

第20問 遺伝子診断であなたが懸念することはなんですか。もっとも大きなものを次の中から1つ選んで○をつけてください。

2014年

1. 治せない病気にかかる確率が高いと診断された場合、人生に希望がなくなる …… 30.9%
2. 病気にかかる確率が低いと診断された場合、安心して健康管理を怠るようになる …… 6.3
3. 将来の病気の可能性によって、就職や結婚などで社会的に差別される …… 11.0
4. 個人の医療情報が漏れる …… 6.7
5. 診断結果を確率で示されても、どう判断していいかわからない …… 31.3
6. その他（具体的に ……） …… 1.3
7. 特になし …… 11.1
8. 無回答 …… 1.4

一ビッグデータ規制の是非一

第21問 個人の医療情報を大量に集めた「ビッグデータ」を分析して病気の治療に生かす動きが始まっています。医療の進歩に貢献している一方で、知らないところで自分の情報が使われるという面もあります。個人の医療情報の利用について規制すべきだと思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

2014年

1. 規制すべきだ …… 33.6%
2. どちらかといえば、規制すべきだ …… 25.5
3. どちらともいえない …… 26.3
4. どちらかといえば、規制すべきでない …… 8.9
5. 規制すべきでない …… 5.0
6. 無回答 …… 0.6

一DNA鑑定規制の是非一

第22問 親子の血縁関係を調べるDNA鑑定が広く行われるようになっていきます。例えば、父親と子どもについて血縁関係を科学的に証明できる一方で、違った場合には親子関係が混乱するという面もあります。こうしたDNA鑑定についてどう考えますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

2014年

1. 規制すべきだ …… 11.8%
2. どちらかといえば、規制すべきだ …… 17.0
3. どちらともいえない …… 45.3
4. どちらかといえば、規制すべきでない …… 12.9
5. 規制すべきでない …… 12.5
6. 無回答 …… 0.4

一臓器再生の範囲（MA）一

第23問 ES細胞やiPS細胞など、人間の身体の一部を再生するための研究が行われています。あなたは、臓器や組織はどこまで作り出してよいと思いますか。次の中から作り出してよいと思うものをいくつでも選んで○をつけてください。

2014年

1. 皮膚や骨 …… 79.7%
2. 角膜や網膜などの目の一部 …… 80.0

3. 心臓や肝臓などの臓器 …… 64.9
4. 脳の細胞 …… 41.4
5. 脳全体 …… 23.6
6. 精子や卵子の元になる細胞 …… 25.3
7. 精巣や卵巣 …… 26.2
8. 子宮 …… 31.5
9. その他（具体的に ……） …… 1.6
10. 作り出してよいものはない …… 4.3
11. 無回答 …… 1.6

一脳死か心臓死か一

第24問 人間の死の定義は「脳が死んだら、死と判定する」という脳死と、「脳が死んでも、心臓が完全に止まるまで死と判定しない」という心臓死の2つの考え方があります。あなたのお考えは以下のうち、どれに近いですか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

2002年 2014年

1. 脳死を人の死と考える …… 18.6 < 25.7%
2. どちらかといえば、脳死を人の死と考える …… 16.8 < 20.6
3. どちらともいえない …… 21.6 19.7
4. どちらかといえば、心臓死を人の死と考える …… 23.3 > 19.6
5. 心臓死を人の死と考える …… 19.5 > 14.0
6. 無回答 …… 0.1 0.4

一臓器提供の意思一

第25問 現在の日本の法律では、脳死状態で心臓や肺、肝臓などの摘出ができます。また、心臓死の状態でも、腎臓や角膜ならば提供が可能です。あなたがもし以下の状況になった場合、ご自分の臓器を提供してもよいと思いますか。それとも思いませんか。A、Bのそれぞれについて、次の中から1つずつ選んで○をつけてください。

	1. 提供したい	2. どちらかといえば、提供してもよい	3. どちらともいえない	4. どちらかといえば、提供したくない	5. 提供したくない	6. 無回答
A. 脳死状態での心臓や肺、肝臓などの臓器の提供	2002年 16.0	21.0	30.6	12.6	19.0	0.8
	2014年 20.0	24.9	26.7	11.3	16.8	0.3
B. 心臓死状態での腎臓や角膜の提供	2002年 20.2	26.2	27.5	9.5	16.0	0.6
	2014年 22.8	27.2	24.9	9.9	14.9	0.3

—臓器提供の意思表示—

第26問 あなたは、保険証や運転免許証、意思表示カードなどで、臓器を提供する、あるいは、提供しないという意思表示を行っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

2014年

- 1. 臓器を提供する意思表示を行っている …… 12.9%
- 2. 臓器を提供しない意思表示を行っている …… 3.2
- 3. 臓器提供の意思表示は行っていない …… 83.2
- 4. 無回答 …… 0.7

—家族との話し合い—

第27問 あなたは、ご自身の臓器提供の意思について、ご家族と話し合ったことがありますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

2014年

- 1. 話し合ったことがある …… 20.9%
- 2. 話し合ったことはないが、いずれ話し合いたい …… 26.4
- 3. 話し合ったことはない、これからも話し合うつもりはない …… 20.2
- 4. 話し合うかどうかわからない …… 31.8
- 5. 無回答 …… 0.6

—家族の臓器提供—

第28問 現在の法律では、本人の意思がわからなくても、家族の承諾があれば臓器の提供が可能です。もし、あなたの家族が以下の状況になった場合、あなたは臓器の提供を承諾しますか。それともしませんか。A、Bのそれぞれについて、1つずつ選んで○をつけてください。

	1. 承諾する	2. おそらく承諾する	3. どちらともいえない	4. おそらく承諾しない	5. 承諾しない	6. 無回答
A. 臓器提供の意思表示を行っていた家族が脳死となった場合	2002年 25.1	27.7	26.5	9.7	10.5	0.5
		△	▽		▽	
	2014年 25.7	32.6	23.4	9.9	7.7	0.7
B. 家族が意思表示を行わずに脳死となった場合	2014年 8.0	15.1	32.3	23.2	20.7	0.6

—臓器移植の方法—

第29問 人からの臓器移植以外にも、ブタなどの動物の体の中で人の臓器を作る研究が進められています。仮に、あなたが臓器移植が必要な病気になった場合、どのような方法を選びますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

2014年

- 1. 脳死になった他人から臓器を移植する …… 19.9%
- 2. 心臓死になった他人から臓器を移植する …… 11.9
- 3. 生きている家族から臓器を移植する …… 12.8
- 4. 動物の体内でつくられた人の臓器を移植する …… 5.6
- 5. 人の遺伝子を組み込んだ動物の臓器を移植する …… 1.5
- 6. 臓器移植はしない …… 46.3
- 7. 無回答 …… 1.9

—尊厳死の許容度—

第30問 いわゆる尊厳死は、助かる見込みのない患者に延命治療を実施することをやめ、痛みをやわらげたり取り除いたりする処置にとどめ、自然死を迎えさせることをいいます。あなたは、これを認めますか。認めませんか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

2002年 2014年

- 1. 認められる …… 54.8 < 58.9%
- 2. どちらかといえば、認められる …… 24.8 24.7
- 3. どちらともいえない …… 15.8 > 12.7
- 4. どちらかといえば、認められない …… 2.3 > 1.2
- 5. 認められない …… 2.1 2.0
- 6. 無回答 …… 0.2 0.5

—安楽死の許容度—

第31問 いわゆる安楽死は、不治の病で耐えられない苦痛のある患者が希望した場合に、医師が患者を苦しめない方法で死亡させることをいいます。あなたは、これを認めますか。認めませんか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

2002年 2014年

- 1. 認められる …… 40.2 41.7%
- 2. どちらかといえば、認められる …… 30.2 31.0
- 3. どちらともいえない …… 20.6 19.7
- 4. どちらかといえば、認められない …… 4.5 3.6
- 5. 認められない …… 4.3 3.6
- 6. 無回答 …… 0.2 0.4

—延命治療の希望—

第32問 重い病やけがなどで、命が助からないことがわかった場合、あなたは延命治療を希望しますか。希望しませんか。あなたのお考えに近いものに○をつけてください。

2014年

- 1. 希望する …… 5.5%
- 2. どちらかといえば、希望する …… 5.3
- 3. どちらともいえない …… 17.7
- 4. どちらかといえば、希望しない …… 23.6
- 5. 希望しない …… 47.4
- 6. 無回答 …… 0.5

—医師・医療への信頼感—

第33問 あなたは、医師や現在の日本の医療体制を信頼していますか。それとも信頼していませんか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

	2002年	2014年
1. 信頼している	13.0	< 19.0%
2. どちらかといえば、信頼している	39.2	< 42.6
3. どちらともいえない	30.3	> 26.1
4. どちらかといえば、信頼していない	11.9	> 8.1
5. 信頼していない	5.4	> 3.8
6. 無回答	0.2	0.4

—社会全体の利益と個人の権利制限—

第34問 「社会全体の利益や価値観などを守るためには、個人の権利が制限されることになってもやむを得ない」という意見があります。あなたはどのようにお考えですか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

	2002年	2014年
1. そう思う	7.0	8.0%
2. どちらかといえば、そう思う	17.2	17.7
3. どちらともいえない	40.7	43.8
4. どちらかといえば、そう思わない	20.5	> 16.2
5. そう思わない	14.4	13.6
6. 無回答	0.3	0.8

—信仰・信心（MA）—

第35問 宗教や信仰に関係すると思われることがらで、あなたが信じているものがありますか。もしあればいくつでも○をつけてください。

	2002年	2014年
1. 神	38.6	> 34.1%
2. 仏	44.9	> 39.0
3. 聖書や経典などの教え	9.1	7.5
4. あの世、来世	14.8	14.9
5. 奇跡	27.7	> 24.7
6. お守りやおふだなどの力	23.3	> 20.2
7. 易や占い	7.8	> 5.3
8. 宗教とか信仰とかに関係していると思われることがらは、何も信じていない	21.4	< 27.5
9. その他	7.4	> 2.7
10. 無回答	1.6	< 3.5

—自分の健康状態—

第36問 あなたは、ご自分の心や身体の健康状態についてどう感じていますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

	2014年
1. よい	17.8%
2. まあよい	60.9
3. あまりよくない	18.0
4. よくない	3.1
5. 無回答	0.3

—不妊治療・悩んだ経験—

第37問 あなた、もしくは配偶者は、これまで不妊治療を受けたり、不妊に悩んだりしたことがありますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

	2014年
1. 不妊治療を受けたことがある	5.6%
2. 不妊治療を受けたことはないが、悩んだことがある	7.9
3. 悩んだことはない	85.3
4. 無回答	1.2

—配偶者・パートナー、子どもの有無—

第38問 次の中で、あなたにあてはまるのはどれでしょうか。A、Bのそれぞれについて、次の中からあてはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

	2014年
A. 現在、あなたは配偶者、あるいはパートナーがいますか。	
1. 配偶者がいる	63.2%
2. パートナーがいる	6.5
3. 配偶者もパートナーもない（死別を含む）	29.8
4. 無回答	0.4
B. 現在、あなたにお子さんはいますか。	
1. いる	70.7%
2. いない	29.0
3. 無回答	0.3

—家庭の収入—

第39問 あなたのご家庭の去年1年間の収入は税込でいくらでしたか。一緒に生活している方の収入を含めて、次の中から1つ選んで○をつけてください。

	2014年
1. 100万円未満	5.0%
2. 100万円以上200万円未満	9.1
3. 200万円以上300万円未満	15.5
4. 300万円以上500万円未満	25.5
5. 500万円以上700万円未満	17.4
6. 700万円以上1,000万円未満	11.2
7. 1,000万円以上1,500万円未満	7.3
8. 1,500万円以上	2.0
9. 無回答	6.8

第40問 性別（サンプル構成比参照）

第41問 生年（サンプル構成比参照）

第42問 学歴（サンプル構成比参照）

第43問 職業（サンプル構成比参照）

【2014年】 サンプル構成比

	性		年 層						
	男性	女性	16～29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
2,470人	1,135	1,335	345	350	407	346	475	547	
100.0%	46.0	54.0	14.0	14.2	16.5	14.0	19.2	22.1	

全体	男の年層						女の年層					
	16～29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	16～29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上
2,470人	164	153	193	151	217	257	181	197	214	195	258	290
100.0%	6.6	6.2	7.8	6.1	8.8	10.4	7.3	8.0	8.7	7.9	10.4	11.7

全体	学 歴							
	卒 業				在 学 中			
	中学校	高等学校	高等専門学校・短期大学	大学・大学院	高等学校、高等専門学校(1～3年生)	高等専門学校(4、5年生)短期大学	大学・大学院	無回答
2,470人	365	976	423	521	86	12	68	19
100.0%	14.8	39.5	17.1	21.1	3.5	0.5	2.8	0.8

全体	職 業								都 市 規 模				
	自分で商売や仕事をしている	勤めている	専門職自由業	主婦	学生	無職	その他	無回答	特別区と人口100万以上の市	人口30万以上の市	人口10万以上の市	人口5万以上の市町村	人口5万未満の市町村
2,470人	247	921	93	555	157	482	2	13	524	549	621	381	395
100.0%	10.0	37.3	3.8	22.5	6.4	19.5	0.1	0.5	21.2	22.2	25.1	15.4	16.0

【2014年】 不能理由

全体	不能合計	場所不明	転居	1年以上不在	10日以上不在	10日未満不在	留め置き不可能	自宅療養	拒否	その他	死亡	受け取り不可能	紛失・汚損	対象違い
3,600人	1,130人	39	143	25	44	79	51	35	534	1	7	145	0	27
100.0%	31.4%	1.1	4.0	0.7	1.2	2.2	1.4	1.0	14.8	0.0	0.2	4.0	0.0	0.8

【2002年】 サンプル構成比

	性		年 層						
	男性	女性	16～29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
1,315人	635	680	268	208	242	226	208	163	
100.0%	48.3	51.7	20.4	15.8	18.4	17.2	15.8	12.4	

全体	男の年層						女の年層					
	16～29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	16～29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1,315人	149	97	119	106	92	72	119	111	123	120	116	91
100.0%	11.3	7.4	9.0	8.1	7.0	5.5	9.0	8.4	9.4	9.1	8.8	6.9

全体	学 歴							
	卒 業				在 学 中			
	中学校	高等学校	高等専門学校・短期大学	大学・大学院	高等学校、高等専門学校(1～3年生)	高等専門学校(4、5年生)短期大学	大学・大学院	無回答
1,315人	292	507	236	179	60	14	26	1
100.0%	22.2	38.6	17.9	13.6	4.6	1.1	2.0	0.1

全体	職 業								都 市 規 模				
	自分で商売や仕事をしている	勤めている	専門職自由業	主婦	学生	無職	その他	無回答	政令指定都市	人口30万以上の市	人口10万以上の市	人口5万以上の市町村	町村
1,315人	145	510	13	328	101	206	12	0	272	183	279	273	308
100.0%	11.0	38.8	1.0	24.9	7.7	15.7	0.9	0.0	20.7	13.9	21.2	20.8	23.4

【2002年】 不能理由

全体	不能合計	場所不明	転居	1年以上不在	10日以上不在	10日未満不在	留め置き不可能	自宅療養	拒否	その他	死亡	受取不能・紛失	対象違い	回答不備
1,800人	485	30	89	25	34	25	61	16	140	3	6	40	12	4
100.0%	26.9	1.7	4.9	1.4	1.9	1.4	3.4	0.9	7.8	0.2	0.3	2.2	0.7	0.2